

令和6年度当初予算案のポイント

林務部

令和6年度は、長野県森林づくり指針に沿い「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の持続的なサイクルの推進とともに、2050ゼロカーボンの達成にむけ、以下の取組を重点的に進める。

持続的な木材供給が可能な森林づくり

1 県産材の安定供給・需要拡大

- (拡)・「信州ウッドコーディネーター」を配置し、多様なニーズに対応するための県内木材加工事業者等による連携体制の構築、県産材に関する情報発信を強化
 - ・身近な生活用品等を木質製品へ転換する「ウッドチェンジ」の取組を促進するため、製品開発や販路開拓を支援
 - ・森林資源を生かした再生可能エネルギーの地消地産を推進するため、ペレットストーブやボイラーの導入を支援

2 林業就業者の確保・育成とイノベーションの創出

- (新)・木曽谷・伊那谷地域に集積している人材育成機関及び試験研究機関の連携（フォレストバレーの形成）による森林・林業を支える人材の育成及びイノベーション創出を図るため、フォレストバレーの運営協議会の新設と人材育成・創業支援プログラムを構築
- (拡)・将来にわたり林業に従事する担い手、特に若年層の確保を促進するため、移住者や他産業からの転職に加え、新卒者も支援対象とし、新規就業者の確保と取組を一層推進

3 主伐・再造林の着実な推進

- (新)・再造林の省力化を図るため、主伐（全木集材）から再造林までの作業を一貫で行うために必要な架線の設置・撤去を支援
- (新)・再造林後の森林の確実な更新を図るため、ニホンジカ等の食害から植林後の苗木を守るための活動を支援
 - ・主伐・再造林を促進するため初期保育（標準経費全額）支援の継続実施

県民が恩恵を享受できる森林づくり

○ 森林サービス産業の推進

- (拡)・森林空間を健康や観光など様々な分野で活用する森林サービス産業の創業・活動支援、相談体制の整備
 - ・質の高いサービスを提供できる人材の育成を推進
 - ・活動のフィールドとなる森林空間や施設整備への支援
 - ・地域の里山や学校林を活用した森林環境教育への支援

県民の暮らしを守る森林づくり

1 災害に強い森林づくりの推進

- ・県土の保全や森林の持つ公益的機能を発揮させるため、災害に強い森林づくりを推進

2 出没抑制対策や先進技術を活用した獣害対策の推進

- ・ツキノワグマ等の野生鳥獣による被害防止のための緩衝帯整備への積極的な支援
- ・ICTを活用したツキノワグマ等の行動監視と効率的なニホンジカ捕獲手法の普及